

きょうの米原高校(5月19日)

ひと雨ごとに学校の周りの緑が色を濃くしていきます。今日のように雨上がりの日の朝は、学校の近くの山から立ちのぼる水蒸気がみごとです。米原高校は、雲の生まれる場所の近くに在ります。

さて、今日は、芸術棟の2階にある図書館を訪れてみました。



長い渡り廊下を通して芸術棟に入ると、図書館の入り口はすぐそこです。

司書の伊香先生は蔵書点検をされていました。



図書館の机は、滋賀県で伐採された間伐材「びわ湖材」をふんだんに使った机です。

コロナウイルス感染症が流行する前は、放課後やお昼休みにこの机で学習したり、読書するみなさんの姿が見られていました。

入り口付近にはその時期ごとに合わせた本の紹介がされています。今は2020年本屋大賞の特集コーナーです。



理数科や英語コースを持つ本校では、自然科学部門の書籍や英語の書籍も多くあります。

貸し出しは、カウンターで。



現在は、コロナウイルス感染症の影響で、入室時の手洗いが必要です。また、閲覧や学習はできず、蔵書の貸し出しのみの対応となります。

高校生のみなさんにとって新たな本との出会いが世界を広げることや、深めることにつながると思います。図書館を訪れてみませんか？